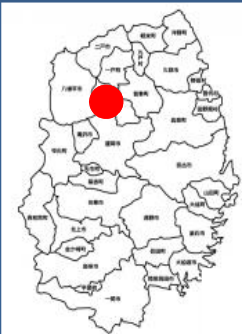
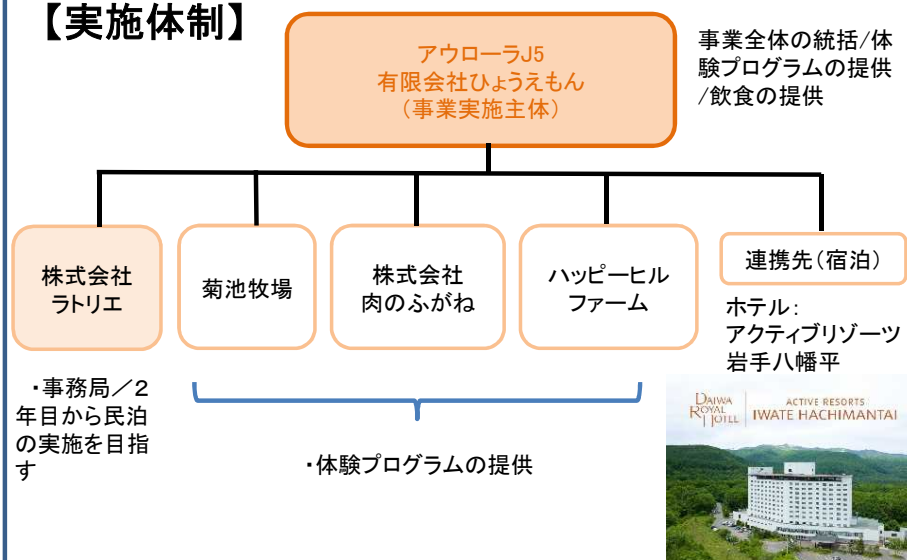


東北新幹線の停車駅を擁する立地を最大限活用して、町の産業(主に農畜産業)、歴史・文化(沼宮内宿中心)、芸術(石神の丘美術館中心)を体感して頂ける体制を整えるため、体験プログラムの充実を図ることからスタートし、以下の取組によりコアターゲットとなった層を中心に、地域生産物の販路拡大につなげる。

岩手県岩手町



【実施体制】



【取組内容】

- 体制の構築及び強化
 - 体制の構築
 - 役割分担の検討/プロジェクトチーム(以下PT)の結成・運営
 - 農泊推進のためのシンポジウムの実施(各1回/講演者3名を想定)
- 農泊の運営方法、収益向上のための検討(担当:A受入基盤整備PT)
 - 先進事例に学ぶ勉強会及び視察研修
- コンテンツ(宿泊・食事・体験)の検討(担当:B商品開発PT)
 - 専門家招聘による勉強会の実施(計3回)
 - 外国人ガイド監修によるプログラム造成(4プログラム)
 - モニターツアーの企画・運営・実施(1回/日帰りツアーを想定)
- プロモーションの検討(担当:CプロモーションPT)
 - 専門家招聘による勉強会の実施(3回)
 - 画像・動画等のコンテンツ制作
 - 協議会WEB制作による情報発信
 - 広告プロモーションの実施(1社)



【採択年度】
令和元年度
【事業実施期間】
令和元~2年度



【特徴的な取組】

- 岩手町を中心とした『北緯40度』地域の主要産業である農畜産業への理解深耕・興味喚起。
- 沼宮内宿周辺の、歴史・文化への接触機会の増加。
- 体験プログラムを中心に、当町への誘客を行った場合に宿泊場所がない問題を解決するための住宅宿泊事業者法に沿った民泊の実施。
- 積極的なインバウンド観光客の誘客と合わせた受入基盤整備。
- 町の遊休インフラ、大農場地帯という地域の魅力、資源を活用した新たな体験プログラムの企画運用。⑦隣接観光地への入口機能強及び関係人口の最大化。



インバウンド対応状況 (青: 対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約